

令和6年度第3回土浦市地域公共交通活性化協議会の  
主な意見と回答について

## 1. 報告事項

## ②地域連携公共ライドシェア事業について

No.	主な意見	回答及び（その後の）対応
1	子供運賃が設定されているが、小学生のみで乗車できるか。	小学生のみの乗車はできるが、未就学児は同乗者が必要となる。
2	障害者・車椅子の方への乗車対応について。 また、登録ドライバー車両の乗車人数について。	自分自身若しくは介助者による乗車が必要となる。予約時に「車椅子や大きな荷物があること」を事前にドライバーに伝えることで、予約受託可否の参考にしてもらう方法がある。 軽自動車を含むドライバー自身の車両となるため、助手席を除く2～5名が想定される。
3	ドライバーよりやめたいと申し出があった場合は追加募集するのか。 受託した予約をドライバー都合によるキャンセルは想定されるか。 エリアを超えた乗降希望があった場合の対応について。 苦情や問い合わせはどこが対応するのか。	現在は目標数に達したため、ドライバーの募集は停止している。不足した場合、再度募集する可能性はある。 ドライバー都合によるキャンセルは、システム上可能であるが、特段の理由なくキャンセルが続く場合は指導とともに、辞めてもらうことも検討することとなる。 エリア外での乗降はトラブルとならないよう利用者へしっかり説明し、ルールどおりエリア内での運用となる。 トラブルの際はカスタマーセンターや運行管理者の関東鉄道㈱とも連絡が取れる体制となっている。苦情等についてもカスタマーセンターが問い合わせ先となる。
4	交通渋滞等、予測されない遅延で遅れてしまった場合に対応手段はあるか。	現在、アプリ上で位置を確認することができる。今後、ドライバーとチャットのような形でコミュニケーションが取れるような手段を検討している。
5	今回のウェブアプリは、海外のUberやGrabに近いシステムか。	Community Mobility㈱は、他自治体で既に配車システムを構築していたが、今回のライドシェア事業ではシステムを一から構

		築したと聞いている。最終的には Uber や Grab に近づいていくと想定される、
--	--	--

### ③つちうら MaaS 実証実験について

No.	主な意見	回答及び（その後の）対応
6	令和7年度以降の実証実験について決まっていることはあるか？	（つちうら MaaS 推進協議会より回答） 令和6年度の実証実験結果を踏まえて事業計画等を検討し、つちうら MaaS 推進協議会で検討の上、報告していきたい。

## 2. 協議事項

### ①令和6年度地域公共交通確保維持改善事業 事業評価等について

No.	主な意見	回答及び（その後の）対応
7	つちまるバス（右韮地区経由）が地域公共交通確保維持改善事業に含まれていない理由は。	キララちゃんバス（B・Cコース）及びつちまるバス（中村南・西根南地区経由）の申請で国庫補助上限に達しているため。

### ②つちまるバス本格運行に向けた指標の設定について

No.	主な意見	回答及び（その後の）対応
8	公共交通不便地域が人口密度 30 人/ha 以上としているのはどのような要因で設定しているのか。	鉄道やバス停留所から一定距離が離れた地域としているが、そのうち人口が集中し、コミュニティ交通が成立しやすい地区を選定している。
9	新治バスの乗車数が少なかった理由は何があげられるか。公共交通不便地域に対するカバー率も目標値や評価指標として考えるのはどうか。	車で移動できてしまうことが大きな要因と思われる。カバー率も必要な指標である。土浦市地域公共交通計画において、公共交通不便地域の面積を評価指標に挙げている。
10	今後、目標値を見直すことはあるのか。また、目標としている利用者数及び収支率の両方を達成しないと本格運行にならないのか。	目標値は、この数値を下回らないよう地区で目指す目標値となるが、人口減少もあることから、目標値が適切かどうか本協議会で協議し設定していきたい。 収支率については、高騰している人件費等の運行経費に大きく影響することから、利用者の取り組みだけで達成することは難しいと考える。達成できていない事由を分析しながら、協議会に諮り決定していきたい。

## 令和6年度 第3回土浦市地域公共交通活性化協議会 議事録

### 1 日 時

令和7年1月17日（金）14時00分

### 2 会 場

土浦市役所本庁舎3階301・302会議室

### 3 会議内容

#### (1) 報告事項

- ①令和6年度第2回協議会の主な意見と回答について（資料1）
- ②地域連携公共ライドシェア事業について（資料2）
- ③令和6年度つちうら MaaS 実証実験について（資料3）

#### (2) 協議事項

- ①令和6年度地域公共交通確保維持改善事業 事業評価等について（資料4）
- ②つちまるバス本格運行に向けた指標の設定について（資料5）

#### 4 出席者

○委員 15 名（敬称略）

#### 土浦市地域公共交通活性化協議会委員名簿

（敬称略）

区 分	氏 名	組織名・役職名	当会役職
利用者	飯岡 世津子	土浦市交通安全母の会 理事	
	大木 信男	土浦市高齢者クラブ連合会 会長	
	露木 順一	土浦市小中学校PTA連絡協議会 会長	
	井上 圭一	土浦市手をつなぐ育成会 会長	
	入交 謙一	土浦市自閉症児(者)親の会	
学識経験者	岡本 直久	筑波大学システム情報系 教授	会長
事業者	廣瀬 貢司	関東鉄道株式会社 常務取締役兼自動車部長	
	宮本 昭一	ジェイアールバス関東株式会社 土浦支店 支店長	
	横山 恭教	特定非営利活動(NPO)法人まちづくり活性化土浦 理事長	
	池田 正人	関東鉄道株式会社 労働組合 執行委員長	
国	小菅 達也	関東運輸局 茨城運輸支局 首席運輸企画専門官	
県	鹿内 秀樹	茨城県 政策企画部 交通政策課 課長	
	針谷 直之	茨城県 土浦土木事務所 道路整備第二課 課長	
	東 直人	茨城県警察本部 土浦警察署 交通課 課長	
市	小林 勉	土浦市役所 副市長	

○事務局

土浦市 都市政策部 部長

飯泉 貴史

土浦市 都市政策部 都市計画課長

鈴木 孝昌

土浦市 都市政策部 都市計画課 課長補佐

岩本 裕志

土浦市 都市政策部 都市計画課 主任

田村 隆典

土浦市 都市政策部 都市計画課 主幹

錦織 諒子

○傍聴者：0名

## 5 会議内容

### (1) 報告事項

#### ① 令和6年度第2回協議会の主な意見と回答について（資料1）

委員から質問・意見等はなかった

#### ② 地域連携公共ライドシェア事業について（資料2）

委員：子供運賃（小学生）とあるが、小学生のみで乗車できるのか教えて欲しい。

事務局：路線バス等、他の公共交通同様に小学生のみの乗車はできるが、未就学児は同乗者が必要となる。

委員：ライドシェア事業において、事故が発生した場合、保険関係はどのように対応するのか教えてほしい。

事務局：保険会社からライドシェア事業に対応する保険が新たに商品化された。本事業では、その保険に加入し、ライドシェア事業中の事故については、原則その保険を使用して対応予定となる。

委員：障害者・車椅子の方への乗車対応について、教えて欲しい。また、登録されているドライバーの車両は、何人乗りの車両か確認させてほしい。

事務局：車椅子の方の乗車においては、自分自身での乗車または介助者による乗車が必要となる。乗車時、車両の大きさによって車椅子を畳んだ状態で車に乗せられるかの問題も生じるため、申込時の伝達事項として、「車椅子有」や「大きな荷物有」などを事前にドライバーへ伝えることで、予約受託の可否の参考にってもらう方法がある。

使用する車両は軽自動車を含むドライバー自身の車両となるため、乗車定員は異なる。助手席を除き、2～5名の乗車が想定される。

委員：ドライバーにおいて、76名申し込みがあったが、途中でやめたいと申し出があった場合、追加募集を行うのか。

ドライバーが一度受託した予約をドライバー都合のキャンセルは想定されるのか。

エリアを超えた乗降希望があった場合、どのように対応するのか。

苦情や問い合わせがあった際の問い合わせ先はどこが対応するのかを教えて欲しい。

事務局：ドライバーの目標数に達成したため、現在、募集は停止している。数名不足したとして、ライドシェア事業にどの程度影響するかは不明であるが、実際の運行後にドライバーが不足している状態が発生した場合、再度、募集する可能性はある。

ドライバー都合によるキャンセルはシステム上、可能となっている。特段の理由もなく、キャンセルが続くと、運行に支障がでるため、ドライバーへの指導とともに辞めていただくことも検討することになる。

エリア外での乗降については、基本的にはトラブルにならないようライドシ

エア事業の内容を利用者へしっかりと説明し、ルールとおりの運行となる。  
トラブルがあった際は、カスタマーセンターや運行管理をしている関東鉄道(株)とも連絡がとれる体制となっています。トラブル以外の苦情等についても、利用者であれば、カスタマーセンターが問い合わせ先となる。

委員：事業者協力型公共ライドシェアとして、関東鉄道(株)が運行管理・車両整備管理となっているが、事故時の対応はどこまで実施するのか。

事務局：本市を含め自治体は、Community Mobility(株)と業務委託契約を実施し、Community Mobility(株)から関東鉄道(株)へ運行管理・車両整備管理等を再委託している。業務内容は、協議の上、決定した内容であることから、事故対応を含め、契約内容に沿って実施していただきたい。関東鉄道(株)の契約範囲外の内容に対する問い合わせや責任については、運行主体である自治体になると考えている。

委員：P2 のつくば・土浦エリアの人数が 41 人、P3 の内訳人数が 40 人のため、異なる人数の内訳（年代・2種の有無、性別）を教えて欲しい。

前回（8月19日）の会議資料を確認すると、運賃 600 円しか協議されていなかったため、新たな直前申込 800 円については、今回の協議会内で審議いただきたい。

事務局：内訳は、40代、2種免許なし、男性となる。  
運賃については、ご審議いただきたい。

会長：申込時にはどのような情報を入力する必要があるのか。また、乗車希望時間に対して、乗合することで希望する時間と相違はどのくらい生じるのか教えて欲しい。

事務局：まずは「乗車場所」、「降車場所」をウェブアプリ上で地図選択または文字検索を行い、そのほか「乗車希望時間」、「乗車人数」を入力し、ドライバーに対して、申込情報が送信される。ドライバーは、自身の車両の大きさや予定に応じて、申込情報から選択して、運行を受託いただく。

予約が1件の場合、予約希望時間とおりの運行となるが、乗合を前提としている事業となるため、利用者へは乗車予定時間が変更になる可能性があることは案内させていただいている。変更の許容時間は、現在、10分で設定している。

会長：交通渋滞など、予測されない遅延で15分遅れてしまった場合に対応手段はあるのか。

事務局：現在、ウェブアプリ上でドライバーの運行状況の位置を確認することができる。そのほか、今後、ドライバーと利用者がチャットのような形でコミュニケーションが取れるような手段を検討している。

会長：今回のウェブアプリは、海外のUberやGrabに近いシステムなのか。

事務局：Community Mobility(株)は、他自治体で既にmobiという形で、配車システムを構築していたが、今回のライドシェア事業ではシステムを一から構築していると聞いている。最終的には、海外のUberやGrab等に近づいていくと想定

される。

会 長：P5の事前予約600円（子供300円）、直前予約800円（子供400円）についてお諮りする。本件は原案の通り可決するものとしてよろしいか。

委員一同：異議なし。

### ③つちうら MaaS 実証実験について（資料3）

会 長：令和7年度以降の実証実験について、決まっていることはあるのか教えて欲しい。

関東鉄道：令和7年度以降は、令和6年度の実証実験結果を踏まえて、事業計画等を作成し、つちうら MaaS 推進協議会で検討の上、報告していきたい。

## （2）協議事項

### ①令和6年度地域公共交通確保維持改善事業 事業評価等について（資料4）

会 長：つちまるバス（右靱地区経由）が地域公共交通確保維持改善事業に含まれていないが、理由を教えて欲しい。

事務局：キララちゃんバス（B・Cコース）及びつちまるバス（中村南・西根南地区経由）の申請で国庫補助上限に達しているため、つちまるバス（右靱地区経由）の申請は行っていない。

会 長：令和6年度地域公共交通確保維持改善事業 事業評価等についてお諮りする。本件は原案の通り可決するものとしてよろしいか。

委員一同：異議なし。

### ②つちまるバス本格運行に向けた指標の設定について（資料5）

委 員：公共交通不便地域のうち人口密度30人/ha以上としているのは、どのような要因で設定しているのか。

事務局：公共交通不便地域の定義は、鉄道やバス停留所から一定距離が離れた地域としているが、そのうち人口が集中し、コミュニティ交通（特に定時定路線）が成立しやすい地区を選定している。例えば、以前導入した新治バスでは、人口密度が高くなかったため、定時定路線型は定着せず、のりあいタクシー土浦によってカバーする地区とされた。

委 員：新治バスの乗車数が少なかった理由は何があげられるのか。

公共交通不便地域に対するカバー率も目標値や評価指標として考えるのはどうか。

事務局：車で移動できてしまうことが大きな要因と思われる。ご指摘のとおり、カバー率も必要な指標であり、土浦市地域公共交通計画において、公共交通不便地域の面積を評価指標に挙げている。

会 長：3年目に設定した数値は、今後、見直すことはあるのか。また、利用者数及び収支率の2つを目標としてあげているが、両方達成していないと本格運行にならないのか教えて欲しい。

事務局：設定した目標値は、今後、この数値を下回らないよう地区で目指す目標値となる。ただ、人口減少もあることから、今後の目標値が適切かどうか本協議会で協議し、設定していきたい。

収支率については、高騰している人件費を含む運行経費に大きく影響することから、利用者の取り組みだけで達成することは難しいと考えている。ただ、収支差の残りの部分は、税金で補填していることから、達成できていない事由を分析しながら、協議会に諮り決定していきたい。

会長：つちまるバス本格運行に向けた指標の設定についてお諮りする。本件は原案の通り可決するものとしてよろしいか。

委員一同：異議なし。

### 【その他】

茨城県：イオン株式会社と茨城県で包括連携協定を結んでおり、令和3年度より各イオンモールで「乗り物大集合」を実施している。3年ぶりにイオンモール土浦で「乗り物大集合 2024」が1月26日（日）に開催される予定で、つちまるの出展やグリスロ・ボンネットバスの展示、クイズ大会、運転手の採用説明会のブース設置など、例年に比べ盛りだくさんとなっているので、ぜひ皆様お越しくください。

委員：キララちゃんバス（Cコース：霞ヶ浦循環）において、早発が発生しているため、4月から土浦駅での出発・到着時間に変更はないが、途中の停留所の時間配分を調整したダイヤで運行を予定している。また、キララちゃんバス（Bコース：亀城公園循環）において、停留所名で使用している土浦年金事務所が令和7年2月に移転を予定しているため、停留所名を土浦保健センターへ変更を予定している。

ダイヤ・停留所名を変更したガイドブックを令和7年4月に作成予定のため、完成したら、本協議会でお示しする。

会長：令和6年10月から筑波大の学生が土浦の将来像、まちづくりについて、調査・研究し、2月7日（金）午後「地域活性化シンポジウム」という形で提案発表会を行います。土浦に対する若い世代の成果・意見をみていただきたく、お時間の許す限りで、ぜひお越しくください。